

第3回教育振興基本計画部会資料

不登校特例校での取組

八王子市立高尾山学園

黒沢 正明

子供にとって学校は？

楽

安

自

仲

苦

恐

務

独

設立趣旨

今までにない不登校対策のため市長が決断

- 心理的、情緒的、ないしは何らかの社会的要因や背景により、登校しないまたは登校したくてもできない児童・生徒のための公立学校(2003年準備室 2004年開校)
- 状況に応じ一人ひとりの心の安定を図り適切な学習支援と集団生活の中で人間関係をより良く保つ力を養う
- 生きることへの自信(基礎学力と社会性)の獲得

まずは家から出る⇒次に人との関わり⇒そして学力へ

不登校特例校

時数軽減&柔軟な
教育課程

正規教員

予算配当

学校施設

- 学校型、分校型、分教室型

全国に21校

- 東京都は本市(学校型)、調布市、福生市、大田区、世田谷区と私立2校



協力者会議の提言⇒
設置増か

不登校とは

- 心理的、情緒的、ないしは何らかの社会的要因や背景により、登校しないまたは登校したくてもできない児童・生徒で、病欠など以外で年間欠席日数が30日を越える

様々な傷つき体験・教師不信

友達がいない

学習に向かない

児童生徒と保護者が抱える3つの不安

対人不安

学力不安

将来不安

本校に通う児童・生徒像

1 : 学校で生きづらい

⇒社会性・学力

対人不安(友人、教員、集団)

学習不安、分布の両端 ソーシャルスキル誤学習

2 : 生活環境や家庭内環境

⇒福祉的支援

保護者力・養育力

親子&兄弟関係、家庭内不和、生活が不安定

ゲーム・ネット依存、昼夜逆転

3 : 本人の課題

⇒医療的支援

学習や運動が苦手 (未学習)

情緒的不安 朝弱い 境界領域 強いこだわり

登校への支援策

様々な登校刺激

楽しい・嬉しい・美味しい

+ 安心感と知的な好奇心

授業中の居場所(プレイルーム他)

わかる楽しさ/知的な好奇心/ICT

様々な体験活動

充実した支援体制(TT、補助員他)

登校を安定させるには

自己肯定感の醸成

わかった・できた・褒められた・協力しあえた

成長を実感できる様々な仕掛／仕組づくり

学習

体験

行事

家庭



ペーパータワー



イエローバルーン

高尾山学園の体制

登校支援室
(八王子市教委)

相談室
SC+心理相談員

高尾山学園

集団指導

適応指導教室
「やまゆり」

授業体験

小学部

中学部

毎月転入

特別支援教室
「きよたき」

体験/通級

個別指導

SSW
巡回/派遣

プレイルーム
(児童厚生員)

1つの校舎の中に2つの組織

地域の学校

不登校
児童・生徒

転入までの流れ

- よりスムーズな転入⇒毎月(随時)転入

まずは

やまゆり教室

申込

見学

相談

通級



本校の説明会は年2回

次に

高尾山学園

① 見学体験

② 学習体験

③ 生活体験

転入学審査会

一定時間以上参加が条件

18年間の活動を通して

児童・生徒の変容

- ほとんどの児童生徒が元気に(登校率は平均で70%)
- 信頼できる友人や大人を獲得し学習に取り組む姿
- 自分に自信⇒高校大学でリーダー

本校でのKFS

- 少人数＋教職員数(教師、補助員、心理士、SSW、厚生員ほか)
- 授業中の居場所 時数軽減 強制しない(自分のペースで)
- 適応指導教室経由の転入 校内特別支援教室の併設

卒業後の進路

24年度卒業生42人(チャレンジ校/サポート校	: 55%	全日・専修 : 40%)
25年度卒業生40人(チャレンジ校/サポート校	: 45%	全日・専修 : 45%)
26年度卒業生42人(チャレンジ校/サポート校	: 65%	全日・専修 : 30%)
27年度卒業生42人(チャレンジ校/サポート校	: 55%	全日・専修 : 45%)
28年度卒業生38人(チャレンジ校/サポート校	: 70%	全日・専修 : 25%)
29年度卒業生40人(チャレンジ校/サポート校	: 60%	全日・専修 : 35%)
30年度卒業生38人(チャレンジ校/サポート校	: 66%	全日・専修 : 28%)
31年度卒業生35人(チャレンジ校/サポート校	: 77%	全日・専修 : 20%)
02年度卒業生37人(チャレンジ校/サポート校	: 73%	全日・専修 : 24%)
03年度卒業生45人(チャレンジ校/サポート校	: 67%	全日・専修 : 24%)

進学率は95%以上(1年後の高校在籍率は85%以上)